

第9次中期3カ年計画書

令和4年度～令和6年度



となみ野農業協同組合

目次

- J A となみ野 基本理念・経営指針 2P
- 第8次中期3カ年計画を振り返って 3P
 - 第8次中期3カ年計画での主な実践事項 4P~6P
- 第9次中期3カ年計画の策定にあたって(7G戦略) . . . 7P~9P
 - 基本方針、戦略課題と実践方策、年次別計画 10P~17P
 - SDGs への取り組みについて 18P
 - 数値目標 19P~23P

J Aとなみ野 基本理念・経営指針

基本理念

- ▶ 私たちJ Aとなみ野は、農業を通じて新しい時代の住みよい社会と健やかでうるおいのある生活を地域の人たちとともに育み高めつづけます。

経営指針

- ▶ 組織は環境に対応できないと滅びてゆくものです。J Aとなみ野は常に変革・挑戦・想像をテーマに事業の存在意義や位置づけを見直し、将来を見据えた事業を展開します。
- ▶ J Aとなみ野は、有利な立地条件を生かした農業・農村の再構築に取り組むとともに地域社会に信頼され、かけがえのない存在となるよう努めます。
- ▶ 組織は目的・目標を達成するために、効果的に運営しなければなりません。J Aとなみ野は形式主義を排し、課題指向の組織運営をめざします。
- ▶ J Aとなみ野は、この組織で働く人たちにとって本当に魅力を感じる自由闊達で創意工夫し、信頼しあえる職場風土を形成します。
- ▶ 組織の永続的な発展と組合員の負託に応える組織になるため、適正な利益をあげ、経済力を身につけ、経営の安定をはかります。

第8次中期3カ年計画を振り返って

(平成31年度～令和3年度)

第8次中期3カ年計画においては、令和2年初頭から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が米価下落や経済活動の停滞を招き、JAの事業計画にも様々な悪影響を及ぼしました。

そのような中、JAとなみ野は生産販売体制の確立と農業者の所得増大を基本方針に掲げ、高品質・高収量の米・種もみの生産に注力したほか、となみ野型複合経営のさらなる普及や米等の買取販売による実需者と連携した有利販売の実現などに取り組んでまいりました。また、総合農協の強みを活かした各事業間連携によるサービスの提供に心がけ、農業者の所得増大に寄与する自己改革に努めました。

営農面では、業務用米の生産拡大やたまねぎを中心とした複合経営の強化に取り組み、農家所得の向上に努めて参りました。

また、農業機械センターの統合による整備体制の強化や、大規模園芸施設の導入による新たな経営モデルの実証、農業研修制度の設立による担い手の育成に取り組み、次世代に繋ぐ農業経営基盤の確立に取り組んで参りました。

生活面では融資渉外の新設や複合渉外体制の確立とともに、インターネットインフラを活用したサービスの向上により、利用者ニーズに即した事業展開に努めました。

また、JA女性部、青年部と連携した食農教育活動や、農産物直売所を拠点とした地産地消の拡大に取り組み、農業と食の大切さを伝えるとともに、安心して暮らせる地域社会への貢献として日帰り人間ドックの取組強化と、健康教室の開催などを通じ健康寿命の延伸に努めて参りました。

運営面では、農業者の所得増大に寄与する経営基盤の構築を目指し、組織体制のスリム化と業務効率化によるコストダウンを図るため、店舗再編計画の実行に取り組みました。

また、適正な利益の確保による財務体質の強化を重視し、積極的な自己資本の増強に努めました。

今後は、競争力のある魅力的なとなみ野農業を実現するため、組合員に寄り添ったニーズの把握とサービスの提供に努めるとともに、地域農業に貢献できる持続可能な経営基盤の確立を目指してまいります。

第8次中期3カ年計画での主な実践事項

営 農 面

直売米の拡販

- 〔令和元年〕18.5万俵 〔令和2年〕19.6万俵 〔令和3年〕17.1万俵

業務用米の拡販 (つくばSD2・あきだわら)

- 〔令和元年〕2万6千俵 〔令和2年〕2万7千俵 〔令和3年〕3万3千俵

主な園芸品生産量・販売高

たまねぎ

〔令和元年〕6,706ト、425百万円
〔令和2年〕6,628ト、542百万円
〔令和3年〕6,187ト、507百万円

アルギットにら

〔令和元年〕147ト、103百万円
〔令和2年〕133ト、105百万円
〔令和3年〕126ト、90百万円

主穀作物の品質向上

- 〔令和元年〕米上位等級比率84.1%、大麦Aランク
- 〔令和2年〕米上位等級比率89.7%、大麦Aランク
- 〔令和3年〕米上位等級比率93.7%、大麦Aランク

第8次中期3カ年計画での主な実践事項

生 活 面

J Aバンクアプリのサービス開始

- 〔令和元年12月〕

貯金高1,800億円の達成

- 〔令和2年8月〕

渉外（融資・複合）体制の刷新

- 〔令和2年11月〕

第8次中期3カ年計画での主な実践事項

運 営 面

堆肥舎の整備

- 【令和2年3月】 砺波市東別所
- たまねぎ残渣処理施設 敷地面積5693㎡ 建築面積370㎡

統合農機センターの整備

- 【令和2年6月】 砺波市五郎丸
- 整備棟 区画全22スパン 埋込式農機用リフト（7t）ほか整備環境を増強
- 事務所棟 大会議室等研修センターを設置

大規模園芸施設の整備

- 【令和2年6月】 砺波市五郎丸
- 低コスト対候性ハウス10棟（5,040㎡） 集出荷施設（441㎡）
予冷施設（69㎡）

店舗再編計画の実行

- 金融特化型支店の統合
- 支店相談機能の本店集約（令和4.4）に向けた遠隔相談システム導入や業務分担の見直し

自己資本の増強

- 継続的な目的積立金の増額

次世代につなぐ J A と な み 野 7 G 戦略 「～活力と魅力ある地域農業の創造を目指して～」

予期せぬ新型コロナウイルス感染症の蔓延は、世界的な経済活動の停滞や米の過剰在庫を招き、日本の農業生産に多大な悪影響を及ぼしております。J A と な み 野は米生産に依存しない「となみ野型複合経営」を推し進め、地域農業の活性化と持続可能な経営基盤の確立に向け、7つのGを戦略項目に掲げます。

- | | |
|--|----------------------------|
| <small>グレード</small>
1. Grade | 品質・収量の向上、新システム導入、保障点検、施設整備 |
| <small>ジャンル</small>
2. Genre | 新たな分野、新規作物、事業連携 |
| <small>グリーン</small>
3. Green | SDGs、環境、みどり戦略 |
| <small>グランド</small>
4. Grand | 大型化、農地の基盤整備 |
| <small>グローバル</small>
5. Global | 輸出戦略、海外市場 |
| <small>ジェネレーション</small>
6. Generation | 世代を繋ぐ、次世代層、相続 |
| <small>グロウ</small>
7. Grow | 就農、担い手、能力の向上、人材育成、デジタル化 |

7 G 戦略	意味・イメージ	該当戦略
グレード Grade	品質・収量の向上、 新システム導入、保障点検、施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 高品質、高収量な「となみ野農産物」の安定生産と産地競争力の強化 ● 水稲種子の生産性向上と最新選別施設導入による品質の安定 ● 生産拡大へ向けた現場指導の強化と有利販売の実現へ向けた取り組み ● 多様な園芸品目の生産支援 ● 多様化するお客様ニーズへの対応力強化 ● 組合員・地域の皆様に『寄り添う』安心と満足の提供 ● 収益力強化とコスト削減を意識した財務基盤の確保 ● 地域農業の発展に寄与する施設の整備 ● 組合員のために職員が最大限能力を発揮できる職場環境の整備
ジャンル Genre	新たな分野、新規作物、事業連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営基盤強化へ向けた新たな労働力支援サービスの構築と担い手育成 ● 農業者の所得増大に応える販売戦略の展開 ● 園芸作物を組み入れた農地の高度利用による「儲かる農業の実践」 ● 農業・地域・くらしの資金ニーズへの提案力強化 ● 組合員・地域の皆様に『寄り添う』安心と満足の提供 ● 地域社会との繋がりを重視した事業展開
グリーン Green	S D G s、環境、みどり戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● 高品質、高収量な「となみ野農産物」の安定生産と産地競争力の強化 ● トータル生産コストの低減と環境に配慮した取り組み ● 生産性向上に貢献する農業機械の情報発信と提案力強化 ● 地域連携による農業の活性化と食農・食育活動の充実 ● 地域から信頼される施設運営と周辺環境の保全 ● 持続可能な社会の実現へ向けた環境保全活動への取り組み ● 農業振興と地産地消で「食」と「農」を繋ぐ豊かで健康なくらしの実現 ● 地域社会との繋がりを重視した事業展開

7 G 戦略	意味・イメージ	該当戦略
グランド Grand	大型化、農地の基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ● となみ野型複合経営の取組強化と魅力ある地域農業の確立 ● 農業者の所得増大に応える販売戦略の展開 ● 農業者の適期作業に順応した施設運営と運営の強化 ● 生産性向上に貢献する農業機械の情報発信と提案力強化
グローバル Global	輸出戦略、海外市場	<ul style="list-style-type: none"> ● Globalな販売戦略と販路の開拓
ジェネレーション Generation	世代を繋ぐ、次世代層、相続	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産拡大へ向けた現場指導の強化と有利販売の実現へ向けた取り組み ● 地域連携による農業の活性化と食農・食育活動の充実 ● 多様化するお客様ニーズへの対応力強化 ● 農業・地域・くらしの資金ニーズへの提案力強化 ● 組合員・地域の皆様に『寄り添う』安心と満足の提供 ● 農業振興と地産地消で「食」と「農」を繋ぐ豊かで健康なくらしの実現 ● 食農・食育活動を充実し、健康で安心して暮らせる生活を応援する活動の推進 ● 地域社会との繋がりを重視した事業展開
グロウ Grow	就農、担い手、能力の向上、人材育成、デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営基盤強化へ向けた新たな労働力支援サービスの構築と担い手育成 ● 農業者の適期作業に順応した施設運営と運営の強化 ● 園芸作物を組み入れた農地の高度利用による「儲かる農業の実践」 ● 地域から信頼される施設運営と周辺環境の保全 ● 多様化するお客様ニーズへの対応力強化 ● 農業・地域・くらしの資金ニーズへの提案力強化 ● 食農・食育活動を充実し、健康で安心して暮らせる生活を応援する活動の推進 ● 収益力強化とコスト削減を意識した財務基盤の確保 ● 組合員のために職員が最大限能力を発揮できる職場環境の整備

【農業基本方針】

農業経営基盤の強化と産地競争力の向上による魅力あるとなみ野農業の確立

第9次中期3カ年目標（5つの富山県NO.1を目指して）

1. J Aとなみ野
米、麦、大豆の収量・品質 → 富山県NO.1
2. 農産物直売所となみ野の郷
来客数、売上高 → 富山県NO.1
3. 地産地消、食農教育
学校給食への食材供給 → 富山県NO.1
4. 種もみ王国とやま
J Aとなみ野生産量・品質 → 富山県NO.1
5. 富山の園芸
J Aとなみ野生産量・販売高 → 富山県NO.1

【農業基本方針】

農業経営基盤の強化と産地競争力の向上による魅力あるとなみ野農業の確立

戦略課題と実践方策		年次別計画 〔△検討・計画 ○実践〕				
		主たる 部門	取組項目	令和 4年	令和 5年	令和 6年
1. 農業者の所得増大への取り組み	1-1 高品質・高収量な「となみ野農産物」の安定生産と産地競争力の強化【Grade戦略】 【Green戦略】					
	①高品質・安定生産に向けた土づくりの推進と特Aランクの確保	営農	土づくり	○	○	○
	②主穀作（米・麦・豆）のGrade Up(品質と収量)による富山県NO.1の確立	営農	米の上位等級比率	95%以上		
			業務用米単収	SD10俵・あきだわら11俵/10a		
			麦の単収	350kg/10a		
			大豆の単収	250kg/10a		
	③環境と調和した持続性の高い農業の推進とGreen イノベーションへの取組	営農		○	○	○
	1-2 となみ野型複合経営の取組強化と魅力ある地域農業の確立【Grand戦略】					
	① 1億円産地づくり品目を中心とした生産の強化による富山の園芸産地NO.1の確立	営農	園芸品目の販売高	12億円	13億円	15億円
	②地域特産物のブラッシュアップと現場指導の強化	営農		○	○	○
③農地の基盤整備（大区画化と汎用化）によるとなみ野農業モデルのGrand デザイン戦略	営農		△	○	○	
1-3 経営基盤強化へ向けた新たな労働力支援サービスの構築と担い手育成【Genre戦略】 【Grow戦略】						
①研修制度充実による担い手育成と新規就農支援	営農		○	○	○	
②新たな労働力確保へ向けた支援サービス事業への取り組み	営農		△	△	○	
③ICT・IoTを活用した効率的な管理技術の普及拡大	営農		○	○	○	

【農業基本方針】

農業経営基盤の強化と産地競争力の向上による魅力あるとなみ野農業の確立

戦略課題と実践方策		年次別計画 〔△検討・計画 ○実践〕				
		主たる 部 門	取組 項目	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
1. 農業者の所得増大への取り組み	1-4 農業者の所得増大に応える販売戦略の展開【Grand戦略】 【Genre戦略】					
	営農	販売高	60億円	62億円	65億円	
	営農		○	○	○	
	1-5 農業者の適期作業に順応した施設運営と運営の強化【Grand戦略】 【Grow戦略】					
	営農		○	○	○	
	1-6 トータル生産コストの低減と環境に配慮した取り組み【Green戦略】					
	営農		○	○	○	
	営農		○	○	○	
	1-7 水稻種子の生産性向上と最新選別施設導入による品質の安定【Grade戦略】					
	営農	合格率	90%以上			
営農		○	○	○		
営農		△	○	○		

【農業基本方針】

農業経営基盤の強化と産地競争力の向上による魅力あるとなみ野農業の確立

戦略課題と実践方策

年次別計画
〔△検討・計画 ○実践〕

主たる 部 門	取組 項目	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
------------	----------	-----------	-----------	-----------

2. 農業生産拡大への取り組み

2-1 生産拡大へ向けた現場指導の強化と有利販売の実現へ向けた取り組み【Grade戦略】 【Generation戦略】

①生産部会と連携した栽培技術の向上による産地競争力の強化

営農		○	○	○
----	--	---	---	---

②需要に応じた契約栽培や複数年契約の拡充と生産Groupの体制強化

営農		○	○	○
----	--	---	---	---

2-2 園芸作物を組み入れた農地の高度利用による「儲かる農業の実践」【Genre戦略】 【Grow戦略】

①経営規模に即した機械化体系の提案と新たな地域内連携による生産の拡大

営農	たまねぎ	136ha	150ha	170ha
----	------	-------	-------	-------

②新規品目の栽培実証による新たなGenreへの挑戦

営農		△	○	○
----	--	---	---	---

③高度な土地利用による栽培モデルの確立

営農		△	○	○
----	--	---	---	---

2-3 多様な園芸品目の生産支援【Grade戦略】

①生産から販売まで連携した流通・販売体制確立による所得拡大

営農		○	○	○
----	--	---	---	---

2-4 生産性向上に貢献する農業機械の情報発信と提案力強化【Grand戦略】 【Green戦略】

①作業の省力化・高度化を提案する実演会の実施

営農		○	○	○
----	--	---	---	---

②メンテナンス講習会、安全講習会の実施で農作業事故ゼロ

営農		○	○	○
----	--	---	---	---

③作物の栽培情報に応じた展示室の活用

営農		○	○	○
----	--	---	---	---

【農業基本方針】

農業経営基盤の強化と産地競争力の向上による魅力あるとなみ野農業の確立

戦略課題と実践方策		年次別計画 〔△検討・計画 ○実践〕				
		主たる 部 門	取組 項目	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
2. 農業生産拡大への取り組み	2-5 Globalな販売戦略と販路の開拓 【Global戦略】					
		営農	△	△	○	
		営農	△	△	○	
3. 地域活性化(貢献)への取り組み	3-1 地域連携による農業の活性化と食農・食育活動の充実【Green戦略】 【Generation戦略】					
		営農	○	○	○	
		営農	地場産 利用率	45%	55%	65%
	3-2 地域から信頼される施設運営と周辺環境の保全【Green戦略】 【Grow戦略】					
		営農	○	○	○	
		営農	○	○	○	
	3-3 持続可能な社会の実現へ向けた環境保全活動への取り組み【Green戦略】					
	営農	○	○	○		

【生活基本方針】

利用者に寄り添ったニーズの把握による的確なサービスの提供

戦略課題と実践方策	年次別計画 〔△検討・計画 ○実践〕				
	主たる 部 門	取組項目	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
1 多様化するお客様ニーズへの対応力強化 【Generation戦略】 【Grow戦略】 【Grade戦略】					
①デジタル化を中心とした取引拡大	金融共済	ネットバンク 契約件数	毎年250件		
②相続・資産形成相談機能の強化	金融共済	相続手続き時 商品提案件数	毎年200件		
③新営業店システム導入による店舗事務の効率化	金融共済		△	△	○
2 農業・地域・くらしの資金ニーズへの提案力強化 【Grow戦略】 【Generation戦略】 【Genre戦略】					
①信用部門と営農部門の連携による提案力強化	金融共済	農業融資 実行金額	5.6億円	5.8億円	6.1億円
②休日対応による次世代層への利便性向上	金融共済	休日融資 相談件数	120件	140件	160件
③SNSを活用したローン商品のPRとWeb申込の利用促進強化	金融共済	ローン Web申込件数	250件	270件	300件
3 組合員・地域の皆様に『寄り添う』安心と満足の提供 【Genre戦略】 【Grade戦略】 【Generation戦略】					
①全契約者への対面・非対面を融合した3Q・保障点検活動	金融共済	3Q・保障点検 活動件数	毎年24,000件		
②「ひと・いえ・くるま・農業」の保障提案	金融共済	「安心チェック」 件数	毎年8,000件		
③JA共済アプリ及びWebマイページの普及拡大	金融共済		○	○	○

【生活基本方針】

利用者に寄り添ったニーズの把握による的確なサービスの提供

戦略課題と実践方策

年次別計画

〔△検討・計画 ○実践〕

主たる 部門	令和 4年	令和 5年	令和 6年
-----------	----------	----------	----------

4 農業振興と地産地消で「食」と「農」を繋ぐ豊かで健康なくらしの実現【Green戦略】 【Generation戦略】

① 農産物直売所を拠点とした地産地消の事業展開と農商工連携による交流人口の拡大

生活 ○ ○ ○

② お米ファンクラブ会員拡大による米消費拡大と新鮮農産物の充実による富山県NO.1直売所への取り組み

生活 売上高 売上高 売上高
2.4億円 2.6億円 3億円

③ となみ野特産物を活用した新商品の展開、P B商品の拡販による地域農業の活性

生活 ○ ○ ○

④ 安心、安全なエコープマーク商品の普及・販売と連動した野菜摂取量の拡大

生活 ○ ○ ○

5 食農・食育活動を充実し、健康で安心して暮らせる生活を応援する活動の推進【Generation戦略】 【Grow戦略】

① 地産地消と連動したJ A女性部活動の再構築と次世代との交流

生活 △ ○ ○

② 日帰り人間ドック検診受診の向上と健康講座の充実

生活 ○ ○ ○

③ 健康プロジェクトによる長寿社会支援

生活 ○ ○ ○

【運営基本方針】

未来のとなみ野農業を支える持続可能な事業基盤の確立

戦略課題と実践方策

年次別計画
〔△検討・計画 ○実践〕

主たる部門	令和4年	令和5年	令和6年
-------	------	------	------

1 収益力強化とコスト削減を意識した財務基盤の確保 【Grow戦略】 【Grade戦略】				
①自己資本の維持による経営基盤の確保	管理	○	○	○
②経済事業を柱とした新たな収益構造の形成への取り組み	管理	○	○	○
③部門別、事業所別による損益管理の徹底	管理	○	○	○
④遊休資産の効果的な活用方法の検討と実施	管理	△	○	○
2 地域農業の発展に寄与する施設の整備 【Grade戦略】				
①福野カントリーエレベーターの改修整備	管理	○	—	—
②稲種プラント施設の改修整備	管理	△	○	—
③既存施設の計画的改修・整備	管理	○	○	○
④本店施設整備の検討	管理	△	△	△
3 地域社会との繋がりを重視した事業展開 【Generation戦略】 【Green戦略】 【Genre戦略】				
①多様な媒体を通じたJA事業の積極的な情報発信	管理	○	○	○
②総合農協の強みを活かしたSDGsへの貢献	管理	○	○	○
③農福連携による農業を通じた共生社会実現への取り組み	管理	○	○	○
4 組合員のために職員が最大限能力を発揮できる職場環境の整備 【Grow戦略】 【Grade戦略】				
①デジタル化の推進による事務処理の省力化と利用者の利便性向上	管理	○	○	○
②国家資格をはじめとした専門資格取得の奨励	管理	○	○	○
③職員が気軽に相談できる環境整備とメンタルヘルスケアの実施	管理	○	○	○



SDGsへの取り組みについて

J Aとなみ野は各基本方針の取り組みにより、SDGsの達成に貢献します

【農業基本方針】

農業経営基盤の強化と産地競争力の向上による魅力あるとなみ野農業の確立



【生活基本方針】

利用者に寄り添ったニーズの把握による的確なサービスの提供



【運営基本方針】

未来のとなみ野農業を支える持続可能な事業基盤の確立



数値目標（事業取扱高計画）

（単位：百万円）

項		目	令和3年度実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
信用事業	調達	貯金（平均残高）	185,093	187,739	188,900	191,000	
		借入金（平均残高）	5	3	2	2	
	運用	預金（平均残高）	152,701	155,950	157,650	160,650	
		貸出金（平均残高）	23,802	23,637	23,400	23,166	
共事業	長期共済保有高		438,390	419,222	400,362	382,303	
	短期共済掛金額		612	639	614	610	
購買事業	供給高	生産資材	肥料	569	580	561	542
			農薬	474	475	461	446
			農機具	1,292	1,153	1,153	1,203
			その他	394	371	371	371
			計	2,731	2,579	2,546	2,562
	生活物資	米・食料品	141	146	149	150	
		その他	147	135	137	139	
		計	288	281	286	289	
	合計		3,020	2,861	2,832	2,851	

数値目標（事業取扱高計画）

（単位：百万円）

項 目		令和3年度実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
販売事業	買取販売高	米	2,595	2,510	2,500	2,500
		大門素麺	118	120	120	120
		計	2,714	2,630	2,620	2,620
	受託取扱高	種子	1,332	1,250	1,250	1,300
		野菜	917	1,200	1,300	1,500
		畜産物	473	440	440	440
		その他農産物	540	480	640	740
		計	3,263	3,370	3,630	3,980
		利用事業	476	494	504	513
		宅地等供給事業	5	5	17	5
福祉・その他事業	126	125	125	125		

数値目標（損益計画）

（単位：百万円）

項 目		令和3年度 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 総 利 益	信用事業総利益	822	674	672	665
	共済事業総利益	700	670	639	629
	購買事業総利益	391	363	361	373
	販売事業総利益	465	481	498	507
	利用事業総利益	106	89	107	105
	宅地等供給事業総利益	5	5	17	5
	福祉・その他事業総利益	50	44	44	44
	指導事業収支差額	△65	△76	△71	△71
	計	2,477	2,251	2,267	2,257

数値目標（損益計画）

（単位：百万円）

項 目		令和3年度 実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 管理 費	人件費	1,377	1,359	1,344	1,344
	業務費	262	264	261	261
	課税負担金	125	105	119	129
	施設費	618	654	713	653
	その他費用	6	5	5	5
	計	2,389	2,390	2,442	2,392
	事業利益	88	△138	△175	△135
	事業外収益	211	169	169	169
	事業外費用	7	8	7	7
	経常利益	291	23	△13	27
	特別利益	1	518	1,161	0
	特別損失	107	558	1,191	0
	税引前当期利益	186	△16	△43	27
	法人税等合計	75	44	40	40
	当期剰余金	110	△61	△83	△13

要員計画

(単位：人)

令和4年4月	令和5年4月	令和6年4月
226	230	230

※正職員数の計画です

固定資産取得計画

(単位：百万円)

施設名	年次別計画（取得金額）			備考
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
福野カントリー改修	1,155			令和3年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金
種子調製選別施設改修		2,597		令和4年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金
井波大豆 色彩選別機	10			

※取得金額は、補助金等による圧縮記帳前の金額です